

■ 超高精細デジタル化画像で淀川が結ぶ二つの歴史文化を紐解く ■

「淀川今昔明日ものがたりⅢ」を開催

～ 『平家物語絵巻』『大坂画壇』作品のデジタル画像を大画面で上映 ～

関西大学 VOLCANO プロジェクト（浪花大阪の文化的資源の発掘と展示を行う学内連携プロジェクト：project for Visualizing Original Local Contents of Arts in Naniwa-Osaka）とビジュアライゼーション・ラボラトリー大阪（VisLab Osaka）は、5月29日（金）から6月1日（月）まで、グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル The Lab. 2階アクティブスタジオにおいて、「淀川今昔明日ものがたりⅢー平家物語絵巻から大坂画壇までー」を下記のとおり開催します。

「淀川今昔明日ものがたり」は、淀川に関する文化・芸術資源を最新の IT 技術を駆使しながら超高精細デジタル化して、一般の方々への鑑賞機会を提供するものです。「芸術」「水」「川」をテーマに、時と場所を繋ぎ、人々のそれぞれの場所・町への愛着を掘り起こし、地域活性と信頼の醸成に寄与することを目的としています。

2014年2月に開催した第1回では、本学図書館所蔵の約8メートルに及ぶ絵巻物『浪花及淀川沿岸名勝図巻』（大岡春卜、1745年作）の超高精細デジタル画像を株式会社日立製作所との産学連携事業として作成し、関西テレビ扇町スクエアにある4K16面マルチ大画面にて世界で初めて公開しました。また、同年5月に開催した第2回では、『浪花及淀川沿岸名勝図巻』に加えて、こちらも世界初となるモーターパラグライダーによる旧淀川上空から俯瞰した超高精細4K画像を上映し、同図巻と見比べることで好評を博しました。

今回は、源義経が壇ノ浦の戦いに出陣する際、淀川から瀬戸内海へ飛び出したとされることから、岡山県林原美術館所蔵の33メートルにも及ぶ長大な絵巻物『平家物語絵巻第11巻上および中』の超高精細デジタル化映像を一般公開し、平家物語の世界を現代に蘇らせます。また、淀川をテーマにした作品が多く存在する大阪の芸術『大坂画壇』の作品についてもデジタル画像で紹介します。貴族や武士のために描かれた平家物語絵巻と、一般庶民を対象に描かれた大坂画壇の絵画、身近にあった淀川が結ぶ二つの歴史文化を今、一般の皆様にご覧いただくと同時に、超高精細デジタル化画像で紐解いていきます。

記

- | | |
|--------|--|
| 1 日 時 | 5月29日（金）～6月1日（月）11：00～18：00 |
| 2 場 所 | グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル The Lab. 2階アクティブスタジオ |
| 3 対 象 | どなたでも可 |
| 4 事前申込 | 不 要 |
| 5 参加費 | 無 料 |
| 6 特別講演 | 第1回/5月30日（土）13：30～15：00
「スキャナーによる超高精細デジタル化技術」(株)エーディエス 奥村幸司 氏
「平家物語絵巻の面白さー大坂摂津から壇ノ浦までー」林原美術館・学芸課長 浅利尚民 氏
第2回/5月31日（日）13：30～15：00
「デジタルカメラによる超高精細デジタル化技術」(株)日立製作所 米澤恵 氏
「社会的に見た大坂画壇の文人画」関西大学社会学部教授 与謝野有紀 |

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。

